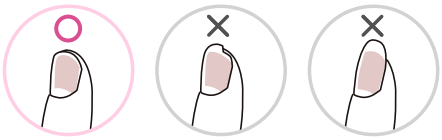
ソフトコンタクトレンズの使い方・お手入れ

レンズのつけ方 / レンズのはずし方

この内容は、取扱説明書の一部を抜粋したものです。
ご使用に際しては、必ずレンズに付属の添付文書および取扱説明書をお読み下さい。

◦レンズを取扱う前に



○よい状態　× 爪が欠けた状態　× 爪が伸びた状態

・レンズを傷つけないように爪を短く切り、先を丸くなめらかにしてください。
・レンズに触れる前に手指を石けんできれいに洗い、石けん分が残らないように十分すすいでください。
・指の先端または腹が角質化してザラつかないよう、軽石などを使い、いつも指をなめらかにしてください。

【対象商品】

Breath-o（ブレス・オー）®

⚠ ご注意
コンタクトレンズはデリケートな瞳に直接触れる医療機器です。
取扱い方法を誤ると思わぬトラブルを招くこともありますので、正しいつけ方・はずし方・お手入れ方法を守り、快適なコンタクトレンズライフを送ってください

“ブレス・オー”のつけ方についてご説明します。

レンズの取り出し方

製品の入ったバイアルびんごとレンズを受け取った場合

レンズは生理食塩水の中に保存されています。バイアルびんのキャップをはずす前に、レンズがくっついたりキズがついたりしていないかをチェックしてください。なお、バイアルびんのキャップをはずすときに指を切らないよう注意してください。

レンズを取り出すときは、手のひらに直接、保存液ごとあけるようにしてください。出しにくい時は保存液を入れて、軽く振ってから手のひらに受けてください。

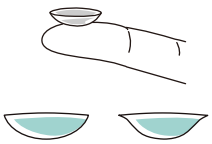
レンズのつけ方

1. 利き手の人差指の先にレンズをのせて、表裏をよく確認してください。（図 A）
   注 装用前に、レンズに破損、変形、キズ、異物や汚れの付着等の不具合がないことを確認してください。
2. 同じ手の中指で下まぶたのまつ毛の生え際を下げ、もう一方の手の人差し指で上まぶたのまつ毛の生え際を上げます。（図 B）
3. 鏡を見ながら大きく眼を開け、黒眼にレンズをのせます。（図 C）
   注 眼を細めたり、まばたきしたり、視線を動かしたりすると、うまく黒眼にのりません。
   一点を見つめるようにすると、簡単につけることができます。もう一方の眼も開いたままの方がつけやすい場合があります。

   レンズが黒眼にのったら、押さえている指をゆっくり離し、軽く眼を閉じてレンズを安定させます。
   注 急に指を離したり、強く眼を閉じたりすると、レンズがズレたり、はずれて落ちてしまうことがありますのでご注意ください。

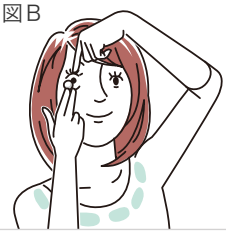
   レンズをつけた眼と反対の眼を手で隠し、見え方を確認します。もう一方の眼にも同じ方法でレンズをつけます。
   注 装用直後にレンズと眼の間に気泡が入っている場合は、まぶたを閉じ、指で軽くなでたり、ゆっくりとまばたきすれば気泡は抜けます。装用後、異物感を感じた場合は、レンズの表裏を間違えたり、ゴミやまつ毛などが入っていることがあります。すぐにレンズをはずし、レンズの表裏を確認し、保存液ですすいだ後、改めてつけなおしてください。

図A

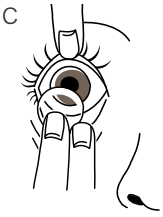


正　常　　裏返し

図B



図C



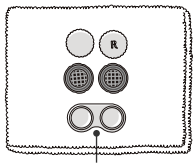
⚠ ご注意
爪や指先が直接眼に触れないようにして下さい。眼に直接ふれると、眼にキズがつくことがあります。

“ブレス・オー”のはずし方ついてご説明します。

レンズのはずし方

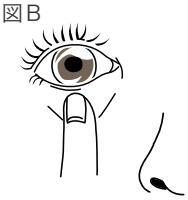
1. 清潔なタオルの上に、上ブタ、中ブタをはずしたレンズケースを、くぼみが手前になるように置きます。(図 A)
   注 左右を間違えないために、常に同じ側のレンズから取り扱うように習慣づけてください。
2. 鏡を見ながら両眼を大きく開け、レンズが黒眼にのっていることを確認します。(図 B)
3. 両方の人差指を上下まつ毛の生え際にあて、まぶたを引きながらレンズ全体を露出させます。(図 C)
   注 まぶたの内側の赤い部分が見えないように注意してください。
4. そのまま、まぶたを耳側に引きながら、レンズをまぶたの縁で、はさみつけるようにします。(図 D)
5. レンズの下に空気が入って浮き上がってきたら、まぶたを押さえている指で眼を軽く閉じるようにすると、スムーズにはずれます。(図 E)

図A



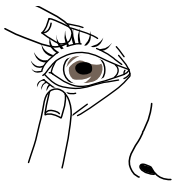
くぼみ

図B



図C

図D



図E

⚠ ご注意
・爪や指先が直接眼に触れないようにしてください。眼に直接触れると眼にキズがつくことがあります。
・レンズや眼をキズつけるおそれがありますので、レンズをつまみ出さないでください。

レンズが一度ではずれない場合は？

いったん指を離し、数回強くまばたきをしたり、人工涙液型点眼薬を点眼し、レンズに動きをもたせてください。
注）人工涙液型点眼薬の使用については眼科医の指示に従ってください。